



SOYOKAZE

Vol.33

2009年7月25日

そよ風

【目 次】

- P1 ＊トピックス
－ 「女性差別撤廃条約」30周年
- P2 ＊男女共同参画実践講座「共に築こう」
－ カリキュラム一覧
－ 公開講座
＊コミュニティカフェ
- P3 ＊実践講座開講の様子
＊平成21年度運営委員の紹介
＊女性の悩みごと相談
- P4 ＊図書紹介、貸出案内、
＊パネル展示報告、センター利用案内



「女性差別撤廃条約」30周年

女性差別撤廃条約、正しくは「女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約」といいます。1979年12月18日、国連総会で採択されました。今年ちょうど30周年に当たります。20世紀の国連文書の中では特筆に値する、人々、とりわけ世界の女性に大きな影響をもたらした条約として有名です。

中でも第1条の「性に基づく差別、排除、又は制限は差別である」という文言は、多くの女性たちの目からウロコを落としたことで知られています。ただ、日本は、この条約を批准するには1985年まで、6年間待たなければなりませんでした。

なぜなら、条約を批准するとその条項を履行する義務が生じます。当時の日本には明らかに義務違反となってしまう状況がありました。国籍法の改正(1984)、男女雇用機会均等法の成立(1985)が急がれたのはその

ためでした。そして学習指導要領の改正(1989)、高等学校家庭科男女共修(1994)へと続きました。

1985年7月25日、日本は世界で72番目の条約加盟国となりましたが、経済大国、先進国と言われている日本が、政策や方針決定に携わる女性が極端に少ないこと、98%の夫婦が結婚後夫の姓を名乗っていることなどのほか、138項目にわたって国連の委員会から疑義を提出されるなど、いまだ女性の置かれている立場、地位などが低いのが実情です。

男女共同参画社会推進は、市民や企業、各自治体の取り組む責務となっています。武蔵野市でも第二次男女共同参画計画(2009)にそって、市民のみならずとともにその歩みを進めようとしています。女性差別撤廃条約に一度目を通してみせんか。



男女共同参画実践講座

— 共に築こう —

以下の内容でスタートしました。8月の夏休みをはさんで、9月からさらに14回が続きます。

日程	内容	講師
①6/27	開講式、オリエンテーション	むさしのヒューマン・ネットワークセンター長／男女共同参画推進事業 コーディネーター 下村美恵子
②7/11	ワーク・ライフ・バランスとは何か	東京女学館大学教授 加藤千恵さん
③7/18	子育て支援のメニューは多彩だけれど…	東京女子大学名誉教授 柏木恵子さん
④9/5	課題整理とトーク&トークⅠ	下村美恵子
⑤9/12	健康と性と生、産後うつや献立うつ、夫在宅うつって？	野の花メンタルクリニック医師 野田順子さん
⑥9/19	男性解体新書、21世紀型イイ男の条件	千葉大学講師 関口久志さん
⑦10/10	課題整理とトーク&トークⅡ	下村美恵子
⑧10/17	【公開講座】殴る、蹴るだけがDVではない	相模女子大学教授 小柳茂子さん
⑨11/7	セクシュアル・ハラスメントはなぜ起きる	労働ジャーナリスト 金子雅臣さん
⑩11/14	課題整理とトーク&トークⅢ	下村美恵子
⑪12/5	メディアを読み解く	インフォメーションプランニング代表 結城美恵子さん
⑫12/12	情報からの自立	インフォメーションプランニング代表 結城美恵子さん
⑬1/9	課題整理とトーク&トークⅣ	下村美恵子
⑭1/16	地域で男女共同参画を進めるために	西武文理大学名誉教授 牛島光恵さん
⑮1/30	【公開講座】武蔵野市の男女共同参画施策のこれから	武蔵野市長 他
⑯2/6	課題整理とトーク&トークⅤ	下村美恵子
⑰2/20	私の意見・提言 閉講式	武蔵野市男女共同参画担当課



コミュニティカフェ



お茶を飲みながら、熱く
子育て論を語りましょう

子どもの成長 楽しんでますか

「お父さんのぶっちゃけトーク」



たいがいのお父さんたちは、日々、何かと忙しく、お子さんと接する時間も限られているかと思えます。でも、子どもたちはお父さんの出番を待っています。楽しく関わるにはどうしたら良いのでしょうか。

子育て経験豊富なお父さんたちと一緒に、子どもへの思いを語り合しましょう。

☆☆ どなたでも参加できます！ ☆☆

日時: 10月3日(土) 13時~16時30分

場所: むさしのヒューマン・ネットワークセンター

対象: 子育てに関心のある男女

費用: 無料

締切: 9/26(土)

申込み・連絡先

むさしのヒューマン・ネットワークセンター 37-3410

実践講座レポート

第3回まで終了している実践講座、
初日の開講式とオリエンテーションでは・・・



【6/27の第一回目】

梅雨の晴れ間の第1回目の6月27日は、30度近い暑さに見舞われました。30名の受講者のうち26名が出席し、会議室は文字通り熱気に包まれました。
武蔵野三鷹ケーブルテレビや市の広報課からのカメラ取材も入りましたが、参加者はリラックスして一人約2分での自己紹介も行いました。

オリエンテーションで講座の主旨を理解し、自己紹介を通じて参加者の多様な考えを聞くこともでき、これから先の学習が楽しみだという感想が多く寄せられました。中でも、参加者同士での話し合いに期待しているとの声がとくに多かったようです。

すべての講座の終了時には約3000字の意見・提言をまとめていただきますという主催者の説明には、ちょっと驚いた表情やパッと目を輝かせた明るい表情など、一瞬ザワつく場面もありましたが、すぐ前向きな意欲に変わっていった様子がみとれました。

今回の講座は、武蔵野市では初の長期連続男女共同参画講座です。学んだ方々が、いろいろな面でその成果を発揮していくことを期待します。

ひとりで悩まずに
まずはご相談を...

女性の
悩みごと相談

(いずれも無料)

■女性総合相談

(50分間まで面談・予約制)

第2木曜 (10:00～、11:00～)
第4火曜 (13:30～、14:30～)

場所・問い合わせ：市民協働推進課
市民相談係

(市役所2階)

☎60-1829

☎60-1921(予約専用)

■母子・女性相談

毎週月～金 (8:30～17:00)

場所・問い合わせ：婦人相談員

母子自立支援員

☎60-1852



むさしのヒューマン・ネットワークセンターの
平成21年度新委員決まる

4月25日に行われた総会で、新年度の運営委員が右記のように決まりました。今後は、毎月一度の役員会と協議会を経て、センターのよりよい運営管理に向けて、討議を重ねながら進めていくことになります。



【6/17の運営協議会】

	氏名	団体名
1	大島 登志子	グループ創
2	岡橋 葉子	NPO法人むさしの経営支援パートナーズ
3	桑田 知子	ハートボラネット
4	佐々木 民枝	クライストマザーズ
5	内藤 博子	日本バシイワ
6	村上 朋子	ウイッシュ・プロジェクト
7	今岡 弘子	個人
8	岩城 未子	個人
9	岡田 美奈子	個人
10	奥山 麻里	個人
11	栗原 毅	個人
12	木下 章子	個人
13	砂川 直美	個人
14	土屋 美恵子	個人
15	中川 瑛子	個人
16	原 利子	個人
17	深田 貴美子	個人
18	向井 一江	個人

図書紹介

このコーナーでは、センター所蔵の図書の中からお薦めの本をピックアップして、皆さんに紹介していきます。今回は市民の女性たちが3年がかりで作上げた「武蔵野市女性史」で、地域の先輩女性たちの暮らしや思いが綴られた力作です。一度手にとって、お読みになることをお薦めします。



「武蔵野市女性史」

～通史編・聞き書き集～

編集：武蔵野市女性史編纂委員会

編纂委員長を務められた奥田暁子さん
(女性研究家)から寄稿していただきました。

「武蔵野市女性史」編纂委員会が発足したのは2001年4月だった。市役所の人選による7人の委員に自ら参加を希望された3人が加わって、合計10人による作業であった。完成までに丸3年かかった。

地域女性史の多くは聞き書き集だけというのが多いが、通史を書くことによって、初めてその地域で生きた女性たちの全体像が見えてくるため、私たちは「通史」と「聞き書き集」の2冊にまとめることを目指した。

通史を書くためには何よりも文書史料を探し出す必要があるが、膨大な市史をひっくり返しても女性に関する記述はほとんどなく、史料探しには泣かされた。「聞き書き集」には、戦前の農村での苛酷な労働や敗戦直後の窮乏生活、民主主義への熱い思いなど、市内に住む74人の女性たちのさまざまな体験が語られている。

この女性史を読むと、「文化都市」とか「おしゃれな街」と言われる今日の武蔵野市からは想像もできない時代がつい最近まであったこと、そして現在の武蔵野市をつくりあげる上で外から移り住んだ女性たちのパワーが大きかったことがわかるだろう。また、在日女性についての記述が入ったことは、女性史研究者たちからも大いに評価されたことを付け加えておきたい。

(記：奥田暁子)

図書貸出案内

貸出数…書籍：5冊まで

ビデオ・DVD：2点まで

貸出期間…書籍：2週間

ビデオ・DVD：1週間



報告

平成21年度男女共同参画週間・パネル展示

今年は

「女性差別撤廃条約」制定から30年

■期間：6月23日(火)から30日(火)正午まで ■場所：武蔵野市役所1階ロビー

毎年6月23日から6月29日の1週間は男女共同参画週間です。

この期間は、男女共同参画社会の実現を推進するため、平成13年に設けられました。そして1面でもふれていますが、今年は市役所のロビーに、『女性差別撤廃条約』制定から30周年を記念した展示を実施しました。たくさんの方が足を止めて見入っていました。



【展示の様子】

● センター利用案内 ●

開館時間：月・火・木・土曜日 9:30～17:00

水・金曜日 9:30～21:00

会議室利用時間

午前10:00～13:00 午後13:30～16:30

夜間17:00～20:30(水・金のみ)

※予約制(2か月前より可)・使用料無料

● 発行 ●

むさしのヒューマン・ネットワークセンター

運営協議会会長 内藤 博子

武蔵野市境 2-10-27 武蔵境市政センター2階

電話/FAX 0422-37-3410

E-mail : mhnc@tokyo.email.ne.jp

ホームページアドレス <http://www.mhnc.jp/>